

令和2年度 学校評価報告書

※[]は令和元年度

	評価指標	自己評価項目（保護者）（職員）	自己評価	学校評価	学校運営協議会委員の意見（○よい点 ●改善 ☆要望、期待等）
知	1 基本的な学習習慣の確立	① 基本的な学習習慣を定着させ、学習意欲・読書意欲を向上させます。 保(3.1) 職(3.1)	[3]	3.5	<p>○ コロナウィルスにより学習時間の確保が大変だったと思いますが、先生方の努力のおかげで平常に戻ることが出来ました。ありがとうございます。</p> <p>○ 授業中に集中出来ていない子、寝ている子等が見られず、先生方のご指導のおかげだと思います。</p> <p>○ 毎回の授業参観を見ながら、児童の学習に対する意欲を感じます。一人一人がとても真面目にきらきらした眼差しで先生のことに耳を傾けています。学力の高さにつながっているのですね。絵画、習字等にもレベルの高さを感じています。</p> <p>○ 授業は落ち着いた雰囲気の中で実践できており、学力も高まっているということを聞き、コロナの影響で心配していたが安心できた。</p> <p>● 発表の様子をみていると、自分の考えをはっきり分かり易く伝える表現力がこれからの課題と考える。</p> <p>● クラスによって手の挙げ方や意見発表の仕方に差を感じた。</p> <p>☆ 知識を身に付けることで将来の展望を認識させる指導を！（社会貢献や社会的地位等の認識）</p> <p>☆ 板書は、子どもの思考力を高めるためにも大切であり、工夫していくことだと思います。</p> <p>☆ 努力している姿を褒めながら集中力・持続力を高める取り組みを！</p> <p>☆ コロナで学習遅れが心配しましたが、遅れもなく進んでいる事に安心しました。本当に理解できているのかは、少し不安な所だと思います。</p>
	2 確かな学力の育成	② わかる、できる、伸ばす授業づくりに努め、学力を向上させます。 保(3.3) 職(3.1)		[3.3]	
徳	3 基本的な生活習慣の確立	① 基本的な生活習慣を身に付けさせます。 保(3.3) 職(3.0)	[3]	3.2	<p>○ 低学年では挨拶がうまくできなかった児童が高学年になってからしっかり挨拶をするようになり、生活習慣が身についている事が伺えます。</p> <p>○ 学校生活を楽しむ姿、明朗性を良く見かけた。</p> <p>○ 地域での子ども達は良くあいさつができています。基本的な事が身についているのだと思います。</p> <p>○ 自ら進んで挨拶ができる児童が増えていると感じます。生活の様子からも落ち着いており、雰囲気が良いと思います。</p> <p>○ コロナの中、精神的に発散できずにいた子どもたちだったでしょうが、地域の中での生活では、問題行動があまり見られず、しっかりできていました。</p> <p>☆ 家庭での個々の情報を収集し、保護者との共通理解のもと、的確な指導も大事では。</p> <p>☆ 礼儀の基本を小学低学年から徹底して教える事が、思いやりのある人間形成には重要に思う。様々な状況を想定しての細かな指導を望む。</p> <p>☆ あいさつが普通に出来る子供が多いですが、児童全員があいさつの大切さを理解し、気持ち良く自然に出来るようにご指導をよろしくお願い致します。</p>
	4 心の教育	② 心に響き合う道徳教育の充実に努めます。（主に：あいさつ、規範意識、生命尊重、思いやり、言葉遣い、ボランティア） 保(3.2) 職(2.8)		[3.3]	

体	5 体力向上	① 運動の日常化に努め、体力を向上させます。 保(3.2) 職(2.8)	[2]	3.0 [2.6]	○ コロナで体力低下は避けられませんが、出来る事をさせていただけたと思います。ありがとうございます。 ○ 学校内での運動力はあまり見えないのですが、公園等で遊んでいる児童の行動に体力が高い事を見受ける事がよくあります。 ● 自粛生活の中でいろいろな規制されて体力を使う活動等ができずに体力は落ちてきていると思います。☆学校がその点を踏まえて、工夫ある活動を展開され、少しずつではあると思いますが、体力も向上してきていますと思いますが、更なる取組をお願いします。 ☆ 運動場が使用できる様になって、コロナで休校になり、体を動かす事が少なくなり、体力の低下が気になります。 ☆ 体力向上の目的を自覚させ、個々の目標を定め達成感を体験させる取組みを！ ☆ 感染症予防の徹底と、学校や家庭、地域での衛生環境を判断できる能力の育成を！
	6 自己管理能力の育成	② 健康管理（歯科衛生、立腰指導等）に努めます。 保(3.1) 職(2.7)			
ふるさと	7 郷土愛につながる祝吉小学校ならではの教育活動	① P T Aや地域行事及び体験的活動（ふるさと教育）の推進と充実に努めます。 保(3.3) 職(3.0) ② 夢や希望を育む幼保小中との連携強化（キャリア教育：主に社会性や人間関係向上）に努めます。 保(3.0) 職(2.9)	[2]	3.2 [3.1]	○ ふるさと先生による学習は、郷土愛を育むために役立っている。 ● 幼保小中の連携も中止で残念でしたが、文書等で幼児が小学校入学を楽しみにできる工夫が必要だと思います。 ☆ 学校と保護者が連携を図り、地域での行事に積極的に参加し、活性化のため交流活動の充実を図る。 ☆ 地域での交流により信頼関係を築き、助け合いの意識向上の取組みを！ ☆ PTA、地域活動共に出来ませんでした。来年度に向けて、出来る活動を考えていきたいと思います。ご協力をお願いします。 ☆ 学校での学習が何故必要なのか、何故勉強をするのか、自分が何になりたいのか、夢を叶えるために必要な事なんだと、夢と勉強を関連付けることで学習意欲の向上につながると思います。夢を実現するための学習だと感じる事が出来れば、勉強の意味を強く受けとめて、進んで勉強出来ると思います。勉強に意味があることを理解させて下さい。 よろしくをお願いします。 ☆ 今年度は児童と触れ合う機会がほとんどなかったので列記する事柄がありません。 ☆ 地域との連携は大切だが、教師の負担にならないように、教師の本分を伸々と発揮してほしい。 ☆ 地域の行事も中止となり、子ども達もなかなか地域に出ていく事がなくなり残念です。 ☆ 地域の活動も中止になることが多く、地域での活躍の場が少なかったです。子どもたちも地域も残念と思っています。
次年度に	1 基本的な学習習慣の定着・・・「基本的な学習の約束事」の徹底、「読書啓発活動、いずみ読書」の推進、「家庭学習の手引き」の啓発 2 確かな学力の定着・・・・・・「主題研究」の推進、「学年研修」の充実、「ICT機器」の有効的活用、「あやめタイム」の充実 3 基本的な生活習慣・・・・・・「生徒指導」に関する共通理解・共通実践、「積極的な生徒指導」の推進、「いわよし4つの宝」の継続、「地域、関係機関」との連携 4 心の教育・・・・・・「考え・議論する道徳」への授業改善、「家庭や地域との連携を図った人権教育」の実践				

向 け て	5	体力向上・・・・・・・・・・「体育科指導方法」の工夫・改善、「個人目標や努力事項」の設定、「家庭や地域との連携を図った運動の日常化」の推進
	6	自己管理能力の育成・・・・「健康管理、安全管理」の徹底、「立腰の日」の継続・実践、「保健・安全指導」の充実、「感染症予防」の徹底
	7	郷土愛・・・・・・・・・・「学校、家庭、地域、地元企業」との連携、「体験的活動」の推進と充実、「学校支援ボランティア」の積極的な活用
	8	その他・・・・・・・・・・「働き方改革」につながる教職員の業務改善への共通理解、保護者・地域との連携